

特別賞

妹へ心を込めて作った、 私の育てた薔薇のブーケ

中野涼子様



妹は私の8歳年下で、生まれた時から記憶に残っていて、とっても可愛くて仕方がなかったのを覚えています。

私と性格は全然違うし、一緒に過ごした時間は長くないですが、とても仲良しです。

妹は、海外あちこち旅するのが好きだったり、とっても自由に生きていて、沖繩にも3か月住んでみるつもりが永住コースになり、沖繩で結婚式を挙げることになりました。

結婚式の1か月前の11月に、「姉ちゃん、かわいいままちゃんのためにドライフラワーでブーケ作って〜」と言われて、一ヶ月前にそんな重要なお祝い!?とビックリ!

ひとまずOKしてみたものの、ブーケなんて作ったこともないのにちゃんと作れるかとても不安でした。

私は植物が大好きで、花や緑や土に触れているだけで幸せな時間を過ごすことができます。

いつか薔薇を自分で育ててみたい!とずっと思っていて、子育てが少し落ち着いて頃の5年前に、自分の家の庭に薔薇の苗木をまず1本買って植えました。

近隣にある園芸センターの薔薇の育て方講座にも通いながら大切に育て、今では5月には見事にたくさんの花をつけ、美しさと香りに癒されています。

毎年少しずつ増やし、今では8本の薔薇が我が家の庭で育っています。

妹に依頼された頃、庭の秋薔薇がちょうど綺麗に咲いていたので、花が開き

ぎないうちに切って逆さにして吊るしておきました。

吊るしている間も綺麗で、甘い香りがお部屋に広がり、私自身が癒やされました。香りのあるレモンユーカリの葉も使い、ほば庭のものを使って、夢中になって東ねていきました。

妹の幸せを願いつつ、喜ぶ顔を思い浮かべながら一気に作りあげていき、とっても甘く爽やかな香りのするドライフラワーのブーケができあがりました。

あんなに心配していましたが、上手くできあがり、すぐに見せたい気持ちになりました。

でもがまんがまん。妹には当日まで見せず、楽しみにしてもらっていました。

飛行機ではたまたま隣が空席で、大事にシートベルトまでしてもらって乗せてもらうという嬉しい待遇。大事に大事に結婚式場まで運び、妹は準備中で会えませんでした。新郎に託しました。

妹は、髪をセットしてもらいながらすごい!!と盛り上がってくれたそうです。興奮気味にメールが送られてきて、とっても喜んでくれて本当に嬉しかったです。

純白のドレスに身を包み、私のブーケを持ってバージンロードを歩いてきて、その幸せいっぱいな笑顔は私の頭の中にしっかりと焼きつきました。

私の趣味を大事な妹の結婚式で活かすことができるのは…ブーケを持った妹を見ながら「私にブーケ作らせてくれてありがとう」とウルウルと涙しました。

ブーケを作らせてもらえたお陰で、私にとっても一生の記憶に残る、とても素敵な結婚式となりました。

審査員講評

とても素敵な薔薇のブーケですね。ドライフラワーとは思えないような美しい発色とやわらかい雰囲気がお写真から伝わってきます。妹さまからの1か月前のお願いにも関わらず完成できたのは大変なことだと思えます。中野さまが日ごろから、お庭の植物を大切に育てて、生育状態もよくご理解されているからこそできたことだと思えます。

結婚式では、ブーケを持った妹さまや周りの人たちが笑顔になっている様子が目に浮かびます。ご姉妹にとっても、ブーケを通じて一生記憶に残るような心温まるエピソードをありがとうございました。



グリーン情報
編集部